進路だより

令和元年度 第1号 下関南総合支援学校 進路部 令和元年7月16日

〈現場実習〉

「今年は梅雨入りが遅く、雨の少ない日が続いています。進路部では例年この時期と秋に現場実習を行っています。

今年も高等部普通科2・3年生と中学部準ずる課程の3年生を対象に現場実習を行いました。例年、天候不順に悩まされていますが、今年は比較的天候に恵まれ、混乱もなく無事終了しました。

実習先は一般企業としてスーパーマーケット・ホテル・パン工場、福祉事業所として、B型事業所・生活介護事業所等で行いました。技能の習得だけでなく、人間関係・コミュニケーション等、通常では得にくい貴重な体験を得ることができ、進路選択について考えるよい機会となりました。

また、この実習について振り返りを行い、次回に 生かすために実習報告会を行いました。報告会で は一人ひとりが実習の反省とこれからの決意を保 護者を含め多くの人の前で発表することができまし た。

〈障害福祉サービス合同説明会〉

今年度も、下関市内の小学校・中学校の特別支援学級、特別支援学校の小・中・高等部の保護者が多数参加のもと、5月29日に社会福祉センターで開催されました。

市内の福祉関係43事業所が参加し、保護者との面談を行いました。障害福祉サービスも過当競争の時代を迎え、事業所独自のサービスを打ち出すところも多くあり、利用者本人や保護者にとっては大いに参考になったと思います。

〈ナカポツセンター〉

正式には「障害者就業・生活支援センター」といい、「ナカポツセンター」とは その略称です。

同センターは障害のある方の身近な地域において、就業面と生活面の一体的な相談・支援を行う支援機関で、国と都道県から事業を委託された法人が 運営しています。山口県内には、現在6か所設置されており、下関市圏域は、



なごみの里(社会福祉法人下関市民生事業助成会)に設けられています。

一般企業での就労を希望する障害の ある方や、障害のある方の雇用に取り組 んでいる、これから取り組みたい企業へ の相談・支援を行っています。

特別支援学校では主に、一般就労が 決定した卒業予定者に対し、卒後の支援 のために同センターへの登録を奨励して います。実際、卒業後の就労がうまくい かない場合に相談に乗ってもらったり、 場合によっては学校側も交えてケース会 議を行ったりしています。



